出石家老屋敷

出石家老屋敷は、出石城の敷地近くに作られた侍用の古い邸宅です。江戸時代（1603〜1867年）後期、高級武士の居宅としてここは利用されていました。この特定の居宅は元の建物と全く同じ設計を採用して復元されており、最初に建てられた場所に今もあります。居宅の中では、訪問客は大名行列中に使用された武器や道具を見ることができます。また、侍が使用していたその他の歴史的遺物も展示されています。この家特有の点は、この時代の侍用邸宅では一般的でなかった、珍しい2階へと続く隠れ階段です。2階の天井は非常に低い作りとなっていて、もしも攻撃を受けた時には、刀の使用をより困難にするためにその限られた空間が採用されたと考えられています。

邸宅内を見てまわる際、訪問客は写真撮影に最適な出石城の眺めと共に座る家老（最上級の侍役人）像に出会うことができます。邸宅内ではその他、毎年11月に出石で開催されるお城まつり、またはお城まつりについて詳しく知ることもできます。このまつりは大名行列を再現するもので、まつりで使われる様々な品が家老屋敷に展示されています。